

令和6年度第1回 奈良県建設工事等入札契約制度検討委員会議事概要

1 日時

令和6年9月5日（木）午前10時から午前11時10分まで

2 場所

修徳ビル 中会議室

3 出席者

（委員）

仁木委員長、今治委員、植田委員、宇野委員、熊谷委員

（県）

県土マネジメント部 安井部長、大澤次長、能登政策官
喜多仲建設産業課長、八田技術管理課長

4 議事

（1）入札契約制度改革の方向性について

事務局から資料1について説明し、意見交換を行った

5 主な発言

（1）入札参加資格制度のあり方について

- ・ 奈良県の格付け基準については、経営事項審査との項目が重複していたり、特異な項目が入っていたりと複雑になっており、申請する側にも審査する側にも負担になっている。国においても入札参加資格の共同化について検討が始まっていることもあり、奈良県の格付け基準についても整理を行うべきであるが、項目については検討が必要と考える。
- ・ 奈良県の格付け基準における技術者の要件は、工事の品質を確保する客観的な指標の側面もあると思う。技術者数の見直しを行うことで、品質確保をどのように担保するかという話も出てくると思う。
- ・ 項目の整理や業種の整理については、当初設定された趣旨が現状においても意味があるか否かも考慮するのが良いと思う。
- ・ 現在の格付け基準を整理し、業者の負担軽減を図ることについては賛成。技術者数の要件については、建設業界全体の技術者を増やすことに対してのインセンティブがなくなることに対してどう対応するのか。格付け要件では緩和するが、個別の工事で配置技術者について言及することでクリアするのか、このあたりは気になるところである。
- ・ 重複している項目の整理が必要だが、奈良県の格付け基準や業種が複雑になった経緯や趣旨、目的を明らかにしたうえで、現状の実態にそぐわないのであれば見直しを実施するという方向が良いかと思う。
- ・ 工事の品質が下がることがないようにすることが重要である。

- ・ 技術者の減少については、国でも専任義務の緩和等の対策が検討されているので、将来的にそれほど不足しない可能性もあるように思う。
- ・ 技術者要件を削減する方向で良いと思うが、奈良県の入札参加資格を有する者について、技術者の人数がどう変化してきたか、技術者要件により等級がダウンしていなかったか等の実情の分析を行うという手段もある。業種の整理についても、何故必要だったのか、今は使われているのかを、また奈良県特有の項目についても設定当時の目的をそれぞれ調べた上で結論を出していただきたい。格付けの際の技術者数に関してはミニマムで良いのではと思う。
- ・ 経済的な合理性や目的物の性能を確保することの重要性、競争性をいかに確保するかも大切。特に競争性を確保することは重要であり、各等級に複数の業者が登録している必要がある。

(2) 発注時の入札参加要件のあり方について

- ・ 発注時の入札参加要件については、工種や区分において、技術力・経営力に優れたものと地域の小規模事業者という2つのカテゴリで現在運用されている。
- ・ 地域の建設業者には、災害時に迅速に対応いただく必要があるため、対応力を強化したいところであるが、工種や等級区分の設定により実現できるかは検討が必要。
- ・ 入札参加要件に地域要件を付加する場合、応札の機会があっても実際に対応できる人員がいなかったり、既に他の工事を受注していたりということもあると思う。地域要件が入札参加への動機付けとしてどの程度の影響があるのかは検討が必要と考える。
- ・ 技術者については、特定の技術者を配置できるか、兼任が可能かどうかを発注時の入札参加要件として設定し、確認する必要があると思う。格付けにおいては、技術者要件を緩和し、発注時の個別の入札参加要件として総合評価でしっかり技術者要件を評価する方法もある。
- ・ 災害発生時に即応的に対応していただく土木一式の事業者が山間地域にどれくらい存在しているのか、建設業の空白地帯が無いかなども分析のうえ、経営への影響や特定事業者だけに受注機会が増えていないか等を調べる必要もあると考える。
- ・ 発注基準においては、金額が平成28年から変わっていない。工事原価は人件費や資材単価が上がっていると考えられるので、金額区分についても検討の余地があると考え。ただし、予算の上限もあることから併せて検討が必要。
- ・ 地域保全のためには、地域の事業者がどれだけ動いてくれるかが重要であることから、南部の山間部の事業者は一定確保する必要があると思う。現在、入札参加資格の地域要件を10者としているとのことだが、現状において問題が無いかや競争が保たれているかを確認いただきたい。
- ・ 山間地域の災害時対応についてはやはり不安が残るところ。競争性を確保しつつ、地域要件が機能しているのか等の検証と、応札に苦勞されている事実が

あれば、事業者の状況を確認することも必要だと思う。

- 地域要件は雇用の確保というよりは、地域の守り手の確保の話であると思う。山間部の競争性の確保も難しい話とは思いますが、趣旨には賛同する。